

SCSK が初の首位！2014 年版「人を活かす会社」調査 調査結果を企業施策に活かす「働き+（プラス）」の予約受付も開始

2014 年 10 月 6 日
株式会社日経リサーチ

株式会社日経リサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:中村 良)は人材の多様化や能力を引き出す環境作りなど「人を活かす」取り組みを進める企業をランキング形式で評価する「人を活かす会社」調査の 2014 年版の結果を発表しました。

また、これに併せて、同調査の集計結果をベースとした人材活用施策評価サービス「働き+（プラス）」の 2014 年版ベーシックレポートとデータ集の販売を 2014 年 11 月上旬から開始します。

「人を活かす会社」調査は日本経済新聞社、日経 HR、日経リサーチの共同企画調査で、昨年「働きやすい会社」アンケートをリニューアルしてスタートしました。同アンケートを含めると今年で 12 回目になります。今回もランキングなどの一部は 10 月 6 日(月)付の日本経済新聞や日経産業新聞の紙面に掲載されました。

リニューアル後 2 回目となる今回の調査で総合首位になったのは昨年 2 位の SCSK でした。評価を構成する 4 側面で「雇用・キャリア」が昨年 13 位から 3 位、「ダイバーシティ経営」が同 15 位から 9 位に上昇するなど全てトップ 10 に入る高評価を得ました。入れ替わりで 2 位に後退したのは富士フィルムホールディングス。「職場環境・コミュニケーション」ではトップに立ったものの、「雇用・キャリア」が昨年の 1 位から 12 位にダウンしたことが響きました。3 位は「育児・介護」「職場環境・コミュニケーション」で共に 6 位に入った日立製作所でした。

一方、「働き+（プラス）」は「人を活かす会社」調査の結果を基に、従業員の能力を最大限に引き出し、高いパフォーマンスを発揮させられる企業へと貴社を導くソリューションサービスです。

商品は「ベーシックレポート」と「データ集」の 2 種類をご用意しています。

ベーシックレポートは任意の指定企業とのスコア比較により、貴社の人事施策の強み・弱みや重点的に改善に取り組むべきポイントを明らかにできます。ランキング結果の詳細分析や改善ポイントの抽出を通して、組織・制度作りをはじめとする施策・政策立案などにご活用ください。

データ集は 400 社を超す有力企業の回答データを多角的に分析。調査結果をグラフや度数分布で可視化する事で、人事施策の現況を明らかにします。「業種」「従業員規模」「女性比率」など様々な分析軸に基づき、全体平均では分からない、各属性特有の取り組み状況が分かります。他社との取り組み状況の比較や KPI にお役立てください。

>> 商品サンプルなど詳細はこちらをご覧ください。

http://www.nikkei-r.co.jp/domestic/management/working_plus/?141006a

■当商品の特長

1. 日本を代表する有力企業 400 社以上の人事・労務担当者からの回答データを集計し、同規模・同業種など多様な分析軸に基づいて、属性ごとの取り組み状況の特徴や差異が分かります。



2. グラフや度数分布から、企業タイプ別の傾向を視覚的に把握できます。
3. ビジネスパーソンへの調査からそのニーズを明らかにし、貴社の取り組み状況とのギャップを可視化することで、「何から取り組むべきか」という優先課題を提示します。

■価格(税抜き)

ベーシックレポート 150,000 円 、データ集 50,000 円

※セット価格、継続購入割引もございます。詳しくはお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 **日経リサーチ**

コンテンツ本部メディア総合調査部 大槻・原

TEL: 03-5296-5198 (平日 9:00~18:00)

E-Mail: hataraki-plus@nikkei-r.co.jp